

カーボンニュートラル SAITAMA ネットワークに基づく 第2回計画策定／改定ワークショップ実施結果概要

日時：令和5年9月29日（金）13：30～16：30

場所：埼玉会館 5B会議室（所在地：さいたま市浦和区高砂3-1-4）

参加市町村数：36市町村（うちオンライン参加 28市町村）

議事次第

- （1）事例紹介
 - ①秩父市： 地域特性を生かした地球温暖化対策の施策展開
 - ②岡山県西栗倉村： 企業との連携による脱炭素施策の展開
- （2）県からの情報提供
森づくり課： 埼玉県山とまちをつなぐサポートセンター
（森林譲与税の活用マッチング支援）
- （3）グループワーク
施策別実施目標の検討

会議概要

地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を未策定又は改定する予定のある県内市町村を対象に、先進事例の紹介を行うとともに、区域施策辺に掲げる施策別実施目標の検討のためのグループワークを行った。

先行事例の紹介では、秩父市より「地域新電力会社の設立」についてお話いただき、岡山県の西栗倉村より「企業との連携による林地残材のエネルギー転換」などの事例についてお話いただいた。

グループワークでは、参加市町村の担当者には架空の市町の環境部局担当者となっただき、自治体ごとの事情に縛られない自由な発想で施策別実施目標の検討を行った。

数値目標の設定にあたっては、連携すべき主体等のことは考えず「2050年カーボンニュートラルを達成するためにはこれくらい必要だろう」という『感覚』でまずは設定をしていただき、その後に連携すべき主体等について検討をしていただく『逆』の手順で検討をしていただいた。

通常とは違う『逆』の手順で検討をしていただくことで、環境部局だけでは施策を進めることはできないことを強く感じていただいた。